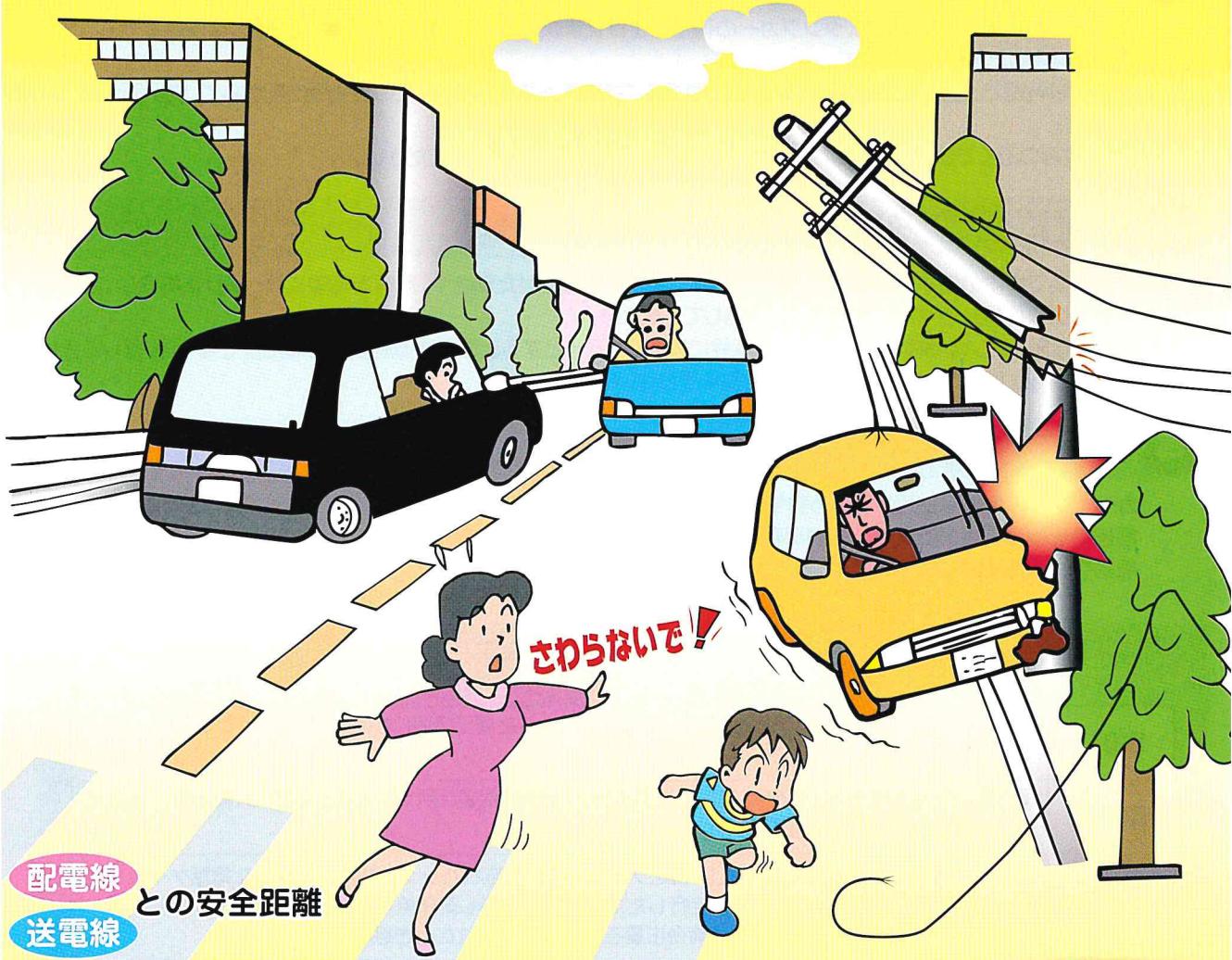


感電

電

事故防止

電線に注意しましよう!



配電線

との安全距離

送電線

	電線の電圧	安全距離 (m)
配電線	6,600ボルト	2.0以上
	33,000ボルト	3.0以上
送電線	6,600ボルト	2.0以上
	33,000ボルト	3.0以上
	66,000ボルト	4.0以上
	154,000ボルト	5.0以上
	275,000ボルト	7.0以上
	500,000ボルト	11.0以上

切れた電線・
垂れ下がった電線には
絶対に触れない!
触れさせない!

感電事故を防ぐためには？

① 垂れ下がった電線は、危険です。見つけたときは、電線には絶対にさわらないで、速やかに電力会社に連絡をしましょう。

台風および雷の影響や、自動車の衝突等が原因で電柱が折れたり、電線が切れて落下する場合があります。

地上に垂れ下がった電線を見つけたときは、絶対にさわらないで、電力会社に連絡してください。

また、電線への樹木の倒壊や飛来物等の接触を見つけた場合も、電力会社に連絡してください。

② 近くに電線がある場合は、安全距離を守りましょう。

クレーン車のブームの接触や、ダンプカーの荷台を上げたまま走行して、電線（高圧線、低圧線）を断線させてしまう事故が発生した事例があります。

建設工事現場で、重機や工事車両等の作業範囲近くに電線がある場合は、専任の監視者を配置して、安全距離を守りましょう。

また、電線の近くで建設工事等がある場合は、事前に電力会社へ連絡してください。

③ 電柱には、絶対に昇らないでください。

伐採作業で樹木の倒す方向を誤り、電柱や電線に樹木を接触させた場合や、凧等を電線にひっかけた場合は、自分で外そうとしないで、速やかに電力会社に連絡してください。

電線に接触している樹木に触れることや電柱に昇って外そうとすると感電する危険があるだけでなく、墜落して大けがをする場合がありますので、電柱には絶対に昇らないでください。

④ 電線近くでの魚釣りは、危険です。

カーボン製の素材を使用している釣竿は、電気を通しやすいため、釣竿が直接電線に接触していない場合でも、高電圧の送電線に近づけただけで誘導電圧が発生し、感電する危険があります。

魚釣りは、電線から離れた場所に移動して行ってください。

感電事故事例

事例1	ビル外壁塗装工事用足場の組立作業中、作業員が隣接した高圧電線に接触し感電、バランスを失い地上に落下し負傷した。
事例2	建物屋上へ型枠材料をクレーンで吊上げ中、ワイヤーが特別高圧線（送電線）に接触し、荷台上で作業をしていた玉掛け作業者が感電負傷した。
事例3	ユニック車に部品を積込む作業をした後、ブームの格納を忘れバックし電柱に共架した電話ケーブルに引っ掛けたことに気づかず、さらに走行したため電柱が傾斜し高圧線がブームに接触した。被災者は、その状態を確認するため荷台に登ろうと車体に触れたとき感電負傷した。
事例4	鮎釣りに出かけた被災者が、カーボン製の釣竿（9m）を立てて持って移動していたため、誤って上空を通過している特別高圧線（送電線）に接近させ感電負傷した。
事例5	伐採作業中誤って配電線に樹木を倒壊させ、それを取り除こうと電柱に昇り木の枝を鋸で除去しようとした際、高圧線に接触させ感電し墜落負傷した。

ルールを守って安全に ヨシ !!

R元年版